

2012年3月14日

青雲塾からのお知らせ

成尾亜矢子 ピアノリサイタル

第3回「一音一会」～Music with LOVE～のご案内

青雲塾担当 松井繁幸（第23期）

一年前、東日本大震災の前日、青雲塾で講師をお願いしたピアニスト、成尾亜矢子さんが東京と大阪でピアノリサイタルを催されますので、お知らせいたします。

青雲塾での模様：<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/2011/32.html>

成尾亜矢子 Web Site：<http://www.pianist-ayako.net/>

（東京公演）3月20日（火・祝日） 東京オペラシティールサイタルホール

（大阪公演）4月30日（月・祝日） イシハラホール

詳しくは、別紙のプログラムをご参照ください。

なお、成尾 亜矢子さんのインタビュー記事が、信濃毎日新聞 で掲載されましたので

添付しておきます。ご覧いただければ幸いです。

成尾亜矢子ピアノリサイタル

第三回「一音一会♪」

~ Music with LOVE ~

~ Program ~

ショパン / 幻想即興曲 op.66

アンダンテスピアネートと華麗なる大ホロネーズ op.22

リスト / 愛の夢 第3番、ラ・カンパネラ、
巡礼の年 第2年より「婚礼」

トビュッシー / アラベスク第1番、
血麻色の髪の乙女、月の光 他

(東京公演)

2012年3月20日(火・祝日)

18:00 開演 (17:30 開場)

東京オペラシティリサイタルホール

《京王新線:初台駅 東口直結》

全席自由：¥3000

(大阪公演)

2012年4月30日(月・祝日)

18:00 開演 (17:30 開場)

インハラホール

《地下鉄四つ橋線:肥後橋駅5-B出口すぐ》

全席自由：¥3000

チケットのお求め・お問合せ：

Tel / 080 - 1512 - 0732 (東京公演)

E-mail

piano-ayako@mail.goo.ne.jp

HP

<http://www.pianist-ayako.net/>

Tel / 06 - 6762 - 5401 (大阪公演)

E-mail

office@como-ent.com

コモエンタープライズ株式会社 担当者:関

主催：成尾亜矢子☆ミュージック・デスク

後援：ミス日本コンテスト事務局

クラブファンタジー (神戸女学院大学音楽学部同窓会)

インターナショナルVIPクラブ学園前

協力：コモ エンタープライズ株式会社

ホールでもチケットのお求めができます。

チケット発売日 2012年1月11日

■ インハラホールチケットセンター / 06 - 6444 - 5875

■ 東京オペラシティチケットセンター / 03 - 5353 - 9999

NARUO AYAKO

成尾 亜矢子

2002 神戸女学院大学 音楽学部 ピアノ専攻 卒業

2002.8 Los Angels にて

International Piano Symposium に参加

2003.1 ~ 2004.1 準ミス日本として ミス日本の活動に参加

2004年奈良 (学園前ホール)、2007年 パリ・奈良 (秋篠音楽堂)

2008年 東京 (ムジカーザ)、2010年 大阪 (イシハラホール)

2011年 東京 (東京オペラシティ) でのソロリサイタル開催をはじめ

病院・学校にてお話し付きコンサートが好評を博している。

2012年秋には、山梨・群馬公演も開催されます。

また、原爆投下で奇跡的に残った「被爆ピアノ」を演奏する

「いのちのコンサート」を各地で展開。

その他、NPO法人「若竹塾」主催の美容師の育成・感性美学を学ぶ

「スーパースタylist検定」の講師を務めるなど 多方面で活躍中。



< 東京公演 >

2012年3月20日(火・祝日)

東京オペラシティ リサイタルホール

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2

TEL 03-5353-0788

FAX 03-5353-0777

※コンサートホール/リサイタルホールご来場の方には駐車料金の割引有り。

< 電車でご来場の場合 >

- ・京王新線 (都営地下鉄新宿線乗り入れ) 初台駅東口下車 徒歩5分以内
- ・小田急線 参宮橋駅より徒歩約14分
- ・都営地下鉄大江戸線 西新宿五丁目駅A2出口より徒歩約17分



< 大阪公演 >

2012年4月30日(月・祝日)

イシハラホール

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-3-15 新石原ビル

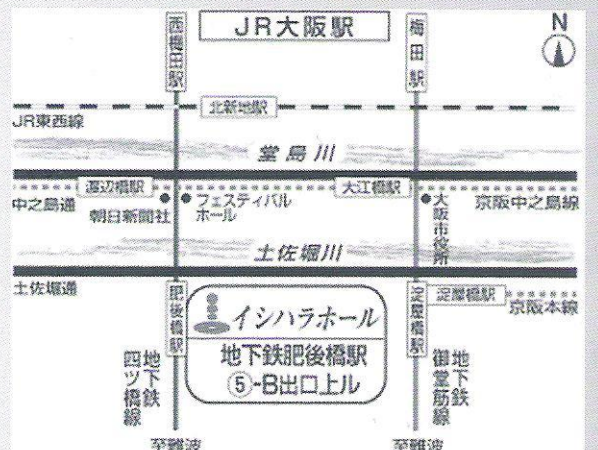
TEL 06-6762-6401

FAX 06-6443-9590

※当ホールには駐車場はございませんので、土佐堀出口付近の公営駐車場をご利用ください。

< 電車でご来場の場合 >

- ・地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅5-B出口すぐ
- ・地下鉄御堂筋線・京阪線「淀屋橋」駅4番出口上がる、土佐堀通を西へ徒歩7分
四ツ橋筋を南へ150m左側
- ・京阪電車 中島線「渡辺橋」駅12番出口より地下連絡通路にて徒歩10分



ひと探訪

座)を利用して上田小泉地域の10人余でつくる「季節のお茶を楽しむ会」が27日、同店で初めてのお茶会を開いた。季節ごとに着物を替え、

くりたい」と、同店と協力して企画。浴衣のほか紗や絹といった夏の和服姿で会員が参加した。

同店の百瀬清子さん(63)が奏者5人が東日本大震災復興を願った曲など10曲を披露した。「名曲米」を生産している近くの土屋幸男さん(74)が企画して7回目。



鎌倉市の弁当屋に出荷している。佐久市協和の水田で生演奏を披露する奏者ら

せ先を明記して、ファクスや封書、はがきで、最寄りの信濃毎日新聞支社支局(左ページの題字下)へ送って下さい。無料ですが、掲載できない場合もあります。

県厚生連佐久総合病院(佐久市臼田)が患者や地域住民らを対象に開いている音楽の催し「いこいの広場」。26日夜、内科外来前の待合の椅子を並べた会場に、患者らが落ち着いて眠れるよう、静かなピアノの音が響いた。

佐久市に移り住み、6月から地元での演奏活動を始めた。自らも両膝の手術や胸の腫瘍摘出などを経験、「病室の天井ばかりを見ていた」入院生活を送った。音楽を通して生きる意味を伝えたいとの思いが強い。「音楽には、苦しみを乗り越える力がある。音楽を通して『生きる』ということを伝えていきたい」

いこいの広場は、プロの演奏家や地元の小中学生らが出演、月1〜2回のペースで開く。担当する6月以降はクラシックの

大阪出身 佐久拠点に活動を始めたピアニスト

お なる 成尾 亜矢子さん (31) 佐久市



佐久市を拠点に活動を始めたピアニストの成尾さん

音楽通じ希望伝えた

ほか、映画音楽や童謡などを演奏している。26日の演奏終了後、入院中の小学校5年生の女の子に声を掛けて手を握ると、女の子は満面の笑みを浮かべた。

を痛めて手術。医師から宝塚をあきらめるよう言われた。夢を失った。

ど、迷いながらピアノを続けていたが、ロシア人教授に学び、実力を伸ばした。

大阪市出身。宝塚歌劇団入団を目指し、他には目もくれなかった。高校2年生の終わりに、バレエの練習などの影響で両膝

だが、入院生活中に聴いた音楽に力をもらい、ピアノを本格的に練習、神戸女学院大学(兵庫県西宮市)の音楽学部に入學した。宝塚への思いが忘れられずチアリーディング部に入るな

卒業後、大阪府内の公立中学校で音楽講師をしながら演奏活動を開始。母親が応募したミス日本のコンテストで「準ミス日本」に選ばれ、人生は順調に見えた。しかし、24歳で左胸に腫

瘍が見つかる。その後もアトピー性皮膚炎がひどくなり、27〜28歳のころは自宅に引きこもり、自殺も考えた。若くして「日の当たる世界」と「生き地獄」の両方を経験した。2008年12月には、隣家から発生した火事が延焼し、自宅が燃え、人生を共にしてきたピアノや楽譜を失ってしまう。シヨックで1年間はピアノを弾けなかった。

苦しい状況で思い浮かべたのは、聴力を失ったベートーベンや故郷ポーランドに思いを寄せ続けたショパン。境過が重なり、「私にしかできない音楽があるはず」。「被爆ピアノ」の演奏会などを開き、10〜11年には大阪と東京でのソロリサイタルを成功させた。

しばらくは佐久市を拠点に活動する。子どもにも音楽で喜怒哀楽を伝えたい、お年寄りにクラシック音楽を楽しんでもらいたい、アトピー患者をはじめ病気の患者さんを癒やしたい。「音楽を通して希望を伝えられたら」。新しい夢が広がっている。(火曜日に掲載します)